園だより

（令和５年度３月号）

令和６年２月29日発行
社会福祉法人国立保育会
上井草保育園
副園長　野村恵

基本理念：かけがえのない命をはぐくむ場

今年度も残り１か月となりました。先日、第三者評価の利用者アンケートをおこないました。ご協力いただきましてありがとうございました。総合満足度が93.6%という評価でした。90%を超える評価をいただけましたが、この結果に満足せず 100%を目指して子どもたちのため、これからも職員一同力を合わせて、最善の利益につながるような保育を行っていきたいと思います。

さて、5歳児クラスの子どもたちは卒園を迎えます。子どもたちは、自分たちにできることは何か考え、話し合いを繰り返しながら過ごした１年でした。その集大成が、大きくなったね会の取り組みだったと思います。どんな時でも真剣に考え、精一杯取り組む姿はとても誇らしく感じます。そんな姿を間近で見ていた４歳児クラスの子どもたちは、来年度への期待を膨らませていることでしょう。他の子どもたちもまた、「主体的な活動」をとおし、一回りも二回りも大きく成長し進級を迎えます。常に前を向き成長していく子どもたちに勇気をもらった１年でした。保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。

３月の行事予定

１日（金）ひな祭り・ひな祭り会食
７日（木）５歳児クラスお別れ遠足
　　※保育園近隣の公園にお散歩にでかけます
８日（金）避難訓練
21日（木）お別れ会食
23日（土）卒園式

今、大切なこと・・・

保育園運営は、保育所保育指針を基におこなっています。その中でも注目されていることは、「非認知能力」についてです。非認知能力は、点数では測れない人間にとって大事な力です。旺盛な好奇心や集中力、自己を抑制する力、頑張ることのできる力、気持ちをコントロールする力等です。このような力がしっかり育っている子どもは、その後社会に出たときに挫折することが少なく、もし何か困難なことが起こっても、自分を大事にして生きていくことができる、そういう大人になっていくのだということが分かってきました。そしてこの力の基礎が大きく育つのは乳幼児期。まさに保育園に通う時期なのです。この力は子どもたちの自発的な活動を通して育っていきます。子どもの意欲を大事にし、子どもの「やりたい」活動を存分に保障するような保育をしていくことが重要であると言われています。だからこそ、「子どもの自主性を引き出す保育」「子どもと相談する保育」なのです。上井草保育園では今後も、満足のいく活動が存分にできる環境を整え、自主的に生活、遊びに取り組むことで未来に向かう生きる力を育てていきたいと思います。